

富山県生物多様性保全推進プラン

～立山連峰から富山湾まで 豊かな自然を未来へ～

令和5年3月

富 山 県

目 次

第1部 富山県の生物多様性の保全と持続可能な利用の推進	1
第1章 富山県生物多様性保全推進プラン策定の意義	1
第1節 生物多様性に関する国内外の動き	1
第2節 生物多様性に関する富山県の動き	1
第3節 生物多様性と持続可能な開発目標（SDGs）	2
第4節 富山県生物多様性保全推進プランの位置付け	2
第5節 富山県生物多様性保全推進プランの対象とする期間と区域	3
1 プランの対象とする期間	3
2 プランの対象とする区域	3
第2章 生物多様性とその重要性	4
第1節 生物多様性とは	4
1 生態系の多様性	4
2 種の多様性	4
3 遺伝子の多様性	5
第2節 生物多様性を保全する意味	5
1 生きものがうみだす大気と水	5
2 私たちの暮らしの基礎	6
3 生きものと文化の多様性	7
4 自然に守られる私たちの暮らし	7
第3節 生物多様性の4つの危機	8
1 第1の危機（開発など人間活動による危機）	8
2 第2の危機（自然に対する働きかけの縮小による危機）	9
3 第3の危機（人間により持ち込まれたものによる危機）	9
4 第4の危機（地球環境の変化による危機）	10
5 生物多様性損失の根本的な要因である、社会経済に生物多様性が主流化 されていない状況	10
6 生物多様性の損失による暮らしへの影響	10
第3章 富山県における生物多様性の現状と課題	11
第1節 概要	11
1 地形・気候	11
2 社会経済	12
3 歴史・文化	15
4 野生動植物	17
5 生態系	19
6 絶滅のおそれのある野生生物	21
7 生物多様性の認知度	24
第2節 現状（生物多様性の4つの危機）	28
1 第1の危機（開発など人間活動による危機）	28

2	第2の危機（自然に対する働きかけの縮小による危機）	29
3	第3の危機（人間により持ち込まれたものによる危機）	31
4	第4の危機（地球環境の変化による危機）	33
	第3節 課題	34
	第4章 富山県生物多様性保全推進プランの理念と目標	35
	第1節 理念	35
	第2節 長期目標	35
	第3節 生物多様性から見た県土のグランドデザイン	35
1	高山・亜高山地域	35
2	奥山地域	36
3	里地里山・田園地域	36
4	都市地域	38
5	河川・湖沼地域	38
6	沿岸・海洋域	39
7	プランが目指す富山県の生物多様性の姿「2050 富山ビジョン」	40
	第4節 目標	41
目標1	生物多様性の重要性についての県民の理解を深め、一人ひとりの行動変容を促す	41
目標2	北アルプスから富山湾に至るまでの様々な生態系のつながりを保ち、人と野生生物との共生を目指す	42
目標3	生物多様性を活かした事業活動を推進するとともに、自然を活用した社会課題の解決を進める	43
	第2部 富山県の生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策体系	44
	第1章 リーディングプロジェクト	44
1	生物多様性のライフスタイルへの主流化	44
2	地域の生態系保全と回復	45
3	立山地域における保護と利用の好循環の実現	47
4	里地里山の保全・再生と野生生物の適正な管理	48
5	生物多様性保全型の農林水産・観光業の振興	49
	第2章 生物多様性を支える基盤づくり【生物多様性を理解し・広める】	50
	第1節 生物多様性を支える人づくり	50
1	生物多様性とのふれあい	50
2	生物多様性にかかる環境教育	53
	第2節 科学基盤の強化	54

第3章 生物多様性の保全と回復【生物多様性を守る】	56
第1節 重要地域の保全	56
1 自然公園等	56
2 鳥獣保護区	58
3 名勝、天然記念物、景観等	58
4 海洋保護区	61
第2節 野生生物の保護と管理	62
1 希少な野生生物の保全	62
2 野生鳥獣の保護管理	64
3 動物愛護	65
4 外来種	65
第3節 地球温暖化への対応	66
第4章 生物多様性の持続可能な利用【生物多様性を活かす】	68
第1節 持続可能な農林水産業の推進	68
1 生物多様性に配慮した農業生産の推進	68
2 農村環境の保全と振興	69
3 多様な森づくり	71
4 森林の適正な保全・管理と県産材の利用	72
5 県民参加の森づくり	73
6 内水面漁業における取組み	73
7 資源管理型漁業の推進と漁村の活性化	74
8 食育・地産地消の推進	75
第2節 身近な緑地等の保全・再生・創出	76
1 都市公園等での取組み	76
2 下水道事業での取組み	77
3 民間施設等での取組み	77
4 花と緑の保全と創出	77
第3節 生物多様性に配慮した河川・海岸・港湾等の整備	78
1 河川の整備	78
2 海岸の整備	80
3 港湾の整備	81
4 漁港漁場の整備	81
5 道路の整備	81
第4節 開発行為等における影響評価	82
1 環境影響評価	82
2 環境影響の軽減に関するその他の取組み	82
3 各種計画への位置づけ	83
第5節 水循環の確保	83

第6節	観光産業での取組み	84
第7節	地域文化の継承	84
第3部	行動計画	86
第1章	県民が取り組む行動	86
第1節	生物多様性県民行動リスト	86
第2節	地域別の取組み内容	92
1	高山・亜高山	93
2	奥山	95
3	里地里山・田園地域	97
4	都市	99
5	河川・湖沼	101
6	沿岸・海洋	103
第2章	期待される効果	105
1	県民総参加による富山県の豊かで特色ある生物多様性の保全と持続的利 用の促進	105
2	ブランド力の向上	105
3	自然豊かなふるさとを誇り、自然環境の保全や地域文化活動に取り組む人 材の育成	105
4	地域の活性化	105
5	子どもの人間形成への寄与	105
第3章	富山県生物多様性保全推進プランの推進体制	106
第1節	各主体の役割	106
1	県民の役割	106
2	事業者の役割	106
3	各種団体（NGO・NPO等）の役割	106
4	学術団体・研究者の役割	106
5	行政（県・市町村）の役割	107
第2節	富山県生物多様性保全推進プランの進行管理	108

資料編	109
1 用語集	111
2 県行政機関の紹介	125
3 主な関連情報サイト	129
4 富山県の生物多様性に関する主な法律の概要	130

トピック	
1 森林浴のすすめ	8
2 外来生物被害予防三原則	9
3 ワンヘルス（新興感染症と生物多様性）	10
4 資源の持続可能な利用に配慮した定置網漁法	14
5 立山の自然と信仰	16
6 事業者による生物多様性に関する取組み	27
7 自然を活用した解決策（NbS）	27
8 なぜ立山で外来植物除去をする必要があるのでしょうか	32
9 里山は多様な昆虫たちのすみか	37
10 イタセンパラの生息を脅かす外来種	46
11 30by30 目標と OECM（Other Effective area-based Conservation Measures）	46
12 愛鳥に関するポスターによる鳥類等の野生生物保護の普及啓発	51
13 ふるさと学習の推進	53
14 身近な自然の観察を通して	54
15 富山雷鳥研究会の取組み	55
16 杉沢の沢スギ	59
17 とやまビューポイント	60
18 富山県自然博物館ねいの里、富山県中央植物園における保護増殖活動の取組み	63
19 農業農村整備事業と環境との調和	69
20 駒方地区資源保全会（高岡市）の取組み	70
21 都市地域における生物多様性の拠点として	76
22 「透過型砂防堰堤」の紹介	78
23 多自然川づくり（自然環境に配慮した川づくり）仏生寺川水系仏生寺川（氷見市）	79
24 海岸侵食によって失われた砂浜を、養浜等によって復元を図った事例	80
25 道路愛護ボランティア活動の紹介	82
26 高志の国文学館	85
27 「とやま森・川・海の環境観察会」の紹介	87
28 環水公園でバードウォッチング	88
29 10月・11月は、「とやま地産地消推進月間」	90
30 富山県生物学会の活動	107

富山県生物多様性保全推進プランの構成

第1部 富山県の生物多様性の保全と持続可能な利用の推進

第1章 富山県生物多様性保全推進プラン策定の意義

- 1 生物多様性に関する国内外の動き
- 2 生物多様性に関する富山県の動き
- 3 生物多様性と持続可能な開発目標（SDGs）
- 4 富山県生物多様性保全推進プランの位置付け
生物多様性基本法第13条に基づく、富山県の生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する総合計画
- 5 富山県生物多様性保全推進プランの対象とする期間と区域
期間は令和12年度までの9年間とし、対象区域は海域を含む富山県全域とする。

第2章 生物多様性とその重要性

- 1 生物多様性とは
- 2 生物多様性を保全する意味 (1)生きものがうみだす大気と水 (2)私たちの暮らしの基礎
(3)生きものと文化の多様性 (4)自然に守られる私たちの暮らし
- 3 生物多様性の4つの危機
(1)第1の危機（開発など人間活動による危機） (2)第2の危機（自然に対する働きかけの縮小による危機）
(3)第3の危機（人間により持ち込まれたものによる危機） (4)第4の危機（地球環境の変化による危機）
(5)生物多様性損失の根本的要因である、社会経済に生物多様性が主流化されていない状況
(6)生物多様性の損失による暮らしへの影響

第3章 富山県における生物多様性の現状と課題

- 1 概要 地形・気候、社会経済、歴史・文化、野生動植物、生態系 など
- 2 現状（生物多様性の4つの危機）
- 3 課題

第4章 富山県生物多様性保全推進プランの理念と目標

- 1 理念 「立山連峰から富山湾まで 人と自然が共生する幸せとやま」
- 2 長期目標
(1)それぞれの地域において、多様で健全な生態系が保たれた社会
(2)ライフスタイルや事業活動において生物多様性の意識が浸透し、生物多様性の恵みを持続可能に利用する社会
- 3 生物多様性から見た県土のランドデザイン
50年から100年単位での長期的な視点に立った県土のランドデザインを①実現すべき条件、②生息・生育する動植物の姿、
③生物多様性の持続的利用の観点から提示
プランが目指す富山県の生物多様性の姿「2050 富山ビジョン」
- 4 目標
(1)生物多様性の重要性についての県民の理解を深め、一人ひとりの行動変容を促す
(2)北アルプスから富山湾に至るまでの様々な生態系のつながりを保ち、人と野生生物との共生を目指す
(3)生物多様性を活かした事業活動を推進するとともに、自然を活用した社会課題の解決を進める

第2部 富山県の生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策体系

第1章 リーディングプロジェクト

プランの対象期間において重要かつ緊急性の高いものについて、生物多様性保全施策全体の先導的役割を果たす事業としてリーディングプロジェクトに設定

- (1)生物多様性のライフスタイルへの主流化
- (2)地域の生態系保全と回復
- (3)立山地域における保護と利用の好循環の実現
- (4)里地里山の保全・再生と野生生物の適正な管理
- (5)生物多様性型農林水産・観光業の推進

第2章 生物多様性を支える基盤づくり

【生物多様性を理解し・広める】

- 1 生物多様性を支える人づくり
- 2 科学基盤の強化

第3章 生物多様性の保全と回復

【生物多様性を守る】

- 1 重要地域の保全
 - (1)自然公園等
 - (2)鳥獣保護区
 - (3)名勝・天然記念物等
 - (4)海洋保護区
- 2 野生生物の保護と管理
 - (1)希少な野生生物の管理
 - (2)野生鳥獣の保護管理
 - (3)動物愛護
 - (4)外来種
- 3 地球温暖化への対応

第4章 生物多様性の持続可能な利用

【生物多様性を活かす】

- 1 持続可能な農林水産業の推進
 - (1)生物多様性に配慮した農業生産の推進
 - (2)農村環境の保全と振興
 - (3)多様な森づくり
 - (4)森林の適正な保全・管理と県産材の利用
 - (5)県民参加の森づくり
 - (6)内水面漁業における取組み
 - (7)資源管理型漁業の推進と漁村の活性化
 - (8)食育・地産地消の推進
- 2 身近な緑地等の保全・再生・創出
 - ・都市公園での取組み
 - ・民間施設等での取組み など
- 3 生物多様性に配慮した河川・海岸・港湾等の整備
- 4 開発行為等における影響評価
- 5 水循環の確保
- 6 観光産業での取組み
- 7 地域文化の継承

第3部 行動計画

第1章 県民が取り組む行動

1 生物多様性県民行動リスト

【アクション】生物多様性を知る 【アクション】生物多様性を守る 【アクション】生物多様性を活かす

県民一人ひとりが日常生活において取り組める具体例を提示

2 地域別の取組み内容

(1)高山・亜高山 (2)奥山 (3)里地里山・田園地域 (4)都市 (5)河川・湖沼など (6)沿岸・海洋域

各生態系における県民、市民団体、事業者、研究者、市町村などの各主体が取り組める具体例を提示

第2章 期待される効果

- 1 県民総参加による富山県の豊かで特色ある生物多様性の保全と持続的利用の促進
- 2 ブランド力の向上
- 3 自然豊かなふるさとを誇り、自然環境の保全や地域文化活動に取り組む人材の育成
- 4 地域の活性化
- 5 子どもの人間形成への寄与

第3章 富山県生物多様性保全推進プランの推進体制

1 各主体の役割及び主体間の連携

2 富山県生物多様性保全推進プランの進行管理

- ・各年度ごとの取組み状況等を把握し、目標の達成状況を情報発信
- ・計画期間の中間年度（令和8年度）では県関係課、市町村、関係団体等の意見を伺い、目標の達成度と併せて進捗状況进行评估し、必要に応じてプランの見直しを行なう。